

## 新人大会1 水泳 女子ソフトボール

9月4日(日)平成28年度沖縄県高等学校新人体育大会水泳競技が奥武山運動公園水泳プールで開かれ、本校から森根拓万君(2-6)が200mと400mの個人メドレーに出場し200m3位、400m2位に入賞、10月に福岡市で開催される九州大会への出場を決めました。

顧問の具志堅稔先生から「今までは背泳でエントリーしていた森根君に、今回個人メドレーでのエントリーに多少不安があったが、見事な泳ぎっぷりでその不安を払拭してくれた。九州大会でも素晴らしい泳ぎをみせてくれることを期待している」とありました。

本人から「九州大会では、オリンピックの規格と同じ深さのプールで泳ぐこと、中学校の時に一度そのプールで泳いだ際失敗したので、今回は絶対にその轍を踏まない。現地では、到着後出来るだけ早くにプールに入り、環境に慣れたい」と抱負を述べていました。彼は個人メドレーで競技に出ることが夢だったそうです。今回の2位入賞を賞賛したところ「皆さんに褒めてもらえるのは嬉しいのですが、自分の記録は普通です」ときっぱり、さらに「試合まであと1か月あるので、今後はその記録をどれだけ伸ばすことが出来るかが自分の目標です」と殊勝に、だけど淀みなく話していました。

今までの競技種目を変えて挑んだ試合に結果を残せたと言うことは、やはり日頃の相当な努力の賜ではないかと思いません。校長室を出る際「人並みに筋トレもして、食事も頑張っているんですけど、僕は筋肉が付かないんですよ」とはにかんだ笑顔が印象的でした。



9月3日(土)、4日(日)女子高校新人ソフトボールシード決定大会が嘉手納海浜公園で開催されました。1回戦は3回コールドゲームで勝ち、2回戦は強豪相手に0-10のスコアで敗れ、ベスト16という成績でしたが2年生1名、1年生8名のぎりぎりの人数での健闘でした。

顧問の永井慎也先生から「この人数で1勝出来たのは収穫。練習試合等を通して試合の勘を育ててベスト8以上を目指したい」とあり「負けた2試合目ではファインプレーも随所に出て、生徒たちもその負けた試合の方が楽しかったと言っていました」と報告がありました。

永井先生自身も野球の現役のプレーヤーとして活躍しています。生徒たちが若い指揮官の情熱に応えるのもそう遠い話ではないと確信しました。